

そばの美味しい季節。自分でつくればもっと美味しいはず。あなたもそば打ちに挑戦してみませんか。

期日・会場  
前田公民館 12月4日(木)  
午前9時～午後1時  
森吉公民館 12月5日(金)  
午前9時～午後1時

場所 公民館調理実習室  
講師 若松康夫さん(能代市二ツ井町)  
材料費 1400円  
(持ち帰り分も含む)

### 手打ちそば体験講座

プロの指導でそば打ちに挑戦



ふすまに描かれた水墨画  
(龍淵寺で)

院の(台所)や斎業(食堂)に掛けてあり、これを鳴らして粥飯(朝食と昼食)の時刻を知らせるもの。

やわらかな風合いの毛筆版画で今年の年賀状を作ってみませんか。注目抜群です!

期日 11月20日(木)  
時間 午前9時～午後3時  
場所 阿仁公民館(ふるさと文化センター)

講師 安東正さん(米内沢在住)  
定員 15人  
内容 毛筆版画で作る手づくり年賀状  
材料代 300円  
持ち物 年賀状、雑巾一枚、各自昼食を準備ください。  
問合せ・申込み  
阿仁公民館 ☎82,2220

### 「毛筆版画」年賀状講座

味わいあるオリジナル年賀状

持ち物 エプロン、三角巾、タオル、筆記用具  
定員 15人(先着順)  
申込期限 11月27日(木)  
申込み問合せ  
森吉公民館 ☎72,3259  
前田公民館 ☎75,2100

## 学びの広場

公民館活動 生涯学習  
文化振興 学校 スポーツ

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します

北秋田市  
教育委員会



### 今問われる社会教育の原点へば、なんとす

第54回東北地区公民館大会兼第58回秋田県公民館大会

10月16・17日の2日間、秋田市文化会館を主会場に第54回東北地区公民館大会兼第58回秋田県公民館大会が開催され北秋田市からも関係者多数が参加しました。

研究テーマは、維新・伝心、今問われる社会教育の原点へば、なんとす。東北各県から社会教育委員、公民館運営審議会委員、公民館利用者など約1300人が集い、社会教育の現状をもとに、今後の社会教育、公民館の在り方などについて活発に議論しました。

第1日目は分科会を中心に、住民参画の地域づくり、少子・高齢時代の

新たな生涯学習の課題、公民館の役割りと運営等をテーマに各県から実践(事例)発表を聴講し、その後は講師を交えての討論会や質疑応答が活発に行われました。

2日目の記念講演では、昭和大学横浜市北部病院副院長・消化器センター長の工藤進英先生による「大腸がんでは死なせない」と題した講演を聴講しました。

工藤先生は1985年、「幻のガン」と呼ばれていた陥凹(かんおつ)型大腸がんを発見。また、内視鏡ゴッドハンドとして世界的に知られている名医です。

参加者は皆、つなぎながら熱心に耳を傾け、健康維持の方法などについて研さんを深めました。

### 白神山地「ニツ森」を登る

沢口公民館移動講座

沢口公民館では10月19日、絶好の登山日和の下、19人の参加者が一路



白神山地「ニツ森」登山を体験した沢口公民館移動講座

世界遺産の白神山地に向いました。国道101号線の分岐点からぶなっこだらけを経て登山口駐車場までバスで約40分、そこからニツ森標高1086m(頂上まではさらに40分の登山行でした)。

ややきつい登りのところもありましたが男性最高齢86歳、女性最高齢70代半ばの参加者全員が元気に頂上を制覇しました。北にはひと際高く聳える岩木山を望み、白神山地を囲むようにして1000m級の山々が連なる景観は圧巻でした。

私たちの登山ルートは白神山地の外縁部であったため写真で見るとぶなの巨木を見ることは出来ませ

んでしたが、遠望する山の木々は素晴らしい眺めでした。  
ぶなの木に刃物で彫り込みをするいたずらがあると聞いていましたが、その木を数本、目の当たりにして悲しい気持ちになりました。当日は登山口で東北森林管理局の職員数人が「入山ルール、マナーを守りましょう」キャンペーンをしていました。皆さんの協力でこの貴重な自然環境を守りたいものです。

### 風を感じる移動研修

中央公民館「古文書塾」

中央公民館定期講座「古文書塾」では10月14日、公民館の教室から外に出る移動講座を行いました。

今回は米内沢の龍淵寺で講座を開催しました。雲版(うんぱん)やふすま絵、龍淵寺掲額文書などをご住職や講座講師の案内でじっくりと見て回りました。

受講生は皆、ふだんはなかなか目にするのでできない貴重な文物を拝見し感銘してきました。

解説(うんぱん) 音を鳴らす仏具のひとつで、主として禅宗寺院で用いられる。庫院(くいん)

### ザ・チャレンジ！ ブナの木植え隊！

ふるさとへの森に学び、ブナの森づくりに参加しよう！

青少年育成北秋田市民会議鷹巣支部(千葉文吉支部長)が主催する「ザ・チャレンジ！ブナの木植え隊！」が、11月3日、奥森吉山麓高原で開催されました。

この事業は、秋田県が進めている「自然再生事業」に賛同し、同支部が今年度新たに取り組んだものです。

この日は、市内の小学生21人と保護者19人(親子15組)が参加し、NPQ 冒険の鍵クーンの協力で、種から育った3年目のブナの苗を

植樹しました。

木が育つには長い年月が必要ですが、植樹により新しい森が再生できます。ブナの木と共に子どもたちの成長を願いながら、親子でいねいに70本の苗を原野に植えました。

また、なめこの採取やどんぐり、トチの実、ブナの実拾いなどを体験し、苗畑に植えるなど環境保全の役割を学びました。午後は、トチの実やクロモジを材料にした工作にも挑戦しました。



15組の親子が参加した「ブナの木植え隊」。植樹のほか、なめこ採り、木の実を使った工作も体験しました